



TOPIC

第16回八戸ダンスプロジェクト DANCE×DANCE×DANCE 4年ぶりの開催、募集締切迫る

「自ら進んで挑戦する意志と行動に新たな発見がある」をテーマに、八戸市内外の小学生・中学生・高校生・一般のダンサーと、スタッフワークを経験・実践したい若者を募集し、指導者の協力のもと公演を実施していくというイベントです。新型コロナウイルスにより中止していましたが4年ぶり、16回目の開催が決まり、現在参加者を募集中です。出演ダンサー、音響・照明スタッフ・舞台監督はもちろん、印刷物デザインや広報・制作、舞台美術、舞台写真も参加者の手で進められ、貴重な経験が得られる機会です。

更に、それぞれの作品をより高度な芸術性の高いものにつくりあげる為に『なぜ今、この作品なのか』をディスカッションし、第一線で活躍するスタッフから指導を受け、ダンサーと共に創りましょう！

ダンサー×スタッフ×観客の三位一体のイベント。それがダンスプロジェクトです！

【応募方法】

<https://spaceben.com/danpro-info.html>

※開催概要に申込みへのリンクがあります

※参加申込書をダウンロード、記入の上、

初回打ち合わせ日(2023年12月17日)にお持ち下さい。

※E-mailでも申込み出来ます。

※募集要項・参加申込書は、八戸ポータルミュージアムはっちにもあります



【参加費用】

●ダンサー/1人¥3,000(小学5年生以上。群舞は人数×¥3,000)

●スタッフ/1人¥3,000(15~30才まで)

●参加費は初回打ち合わせ日(2023年12月17日 13:00~ スペースベン)にお持ち下さい。

【申込み締切】2023年12月10日(日)

■主催・問い合わせ/八戸ダンスプロジェクト実行委員会 昆 賀子 携帯 090-5187-9144



これまでの八戸ダンスプロジェクトより

【公演日程】

第16回八戸ダンスプロジェクト DANCE×DANCE×DANCE

日時 2024年3月17日(日)
11:00・14:00・17:00

※各回40席

※開場はそれぞれ30分前

会場 スペースベン

〈theater information〉



第11回南部弁の日スペシャル はっちがずっぱど南部弁

【場所】八戸ポータルミュージアム はっち
(南部弁で遊ぶびや〜笑うびや〜)

12.2(土) 12:00-18:00/12.3(日) 12:00-15:30

※定員100名 先着順 1階 はっちひろば
(爆笑日替わりトーク)

〜今年はどうな南部弁話っころができる?〜

※定員100名(要整理券)2階 シアター2

※整理券は11/1からはっちインフォメーションで配布

12.2(土)18:30-20:00「んだすけへったっきあ!」

12.3(日)16:00-17:00「どやしたもんだがなっす!」

(俊文書道会による南部弁でザワザワやがましね展覧会)

2階 ギャラリー2

12.2(土)12:00-20:00/12.3(日)12:00-17:00

【問合せ】八戸ポータルミュージアム はっち

☎0178-22-8228



南部弁の日

【日時】2023.12.10(日) 14:00開演

【場所】八戸市公会堂文化ホール

【料金】一般前売 ¥2,800(当日¥3,000)

高校生以下 ¥1,500(前売・当日とも)

【チケット取扱】八戸ポータルミュージアム はっち

ラピア・八戸市公会堂・スペースベン

teket
(ネット予約・購入)



【問合せ】スペースベン 田中勉
☎080-6025-0990



泉萌子ソプラノリサイタル2023

【日時】2023.12.30(土) 14:30-16:00

【場所】はっち 2F シアター2

【料金】前売券2,500円/当日券3,000円

※全席自由。定員100名。未就学児の

入場はご遠慮ください。

【チケット取扱】はっち・泉萌子公式web site

<https://moekoizumi.weebly.com>

【問合せ】泉萌子と音の会

☎050-1808-1731

八戸市出身ソプラノ歌手・泉萌子による、

地元での6年ぶりのリサイタル。

〈スペースベン 12月の予定〉

FANS 予定 第1556~1560回

毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

一般前売500円/大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増)

「かたり場」「だべり場」「ほだれ場」随時開催しています

〈Dance Lesson〉

■毎週月曜日 19:00-20:00/あつし HIPHOP

■毎週火曜日 20:15-21:45/KAZU HIPHOP DANCE SCHOOL

■最終水曜日 19:30-20:30/SEGA HIPHOP

■毎週土曜日 16:30-18:00/BRE FAM HOUSE DANCE HARUクラス ※12/30(土)はお休み

■12/10(日) 14:00-16:00/ACTIVE CLUB ※HARUクラス追加レッスン

〈古典戯曲を味わう会〉

国内外の古典戯曲から参加者で選んだ作品を読み、楽しむ企画です。

■毎月第1・3水曜日 19:00-21:00予定 ※参加費¥100。Zoomにて開催中。日時等変更になる場合があります。

〈メンバーズカード〉

チャージ可能なプリペイドカードで、入場の際ご提示いただくとお売料金で入場いただけます。また、どの公演でも入場料から3%値引きいたします。チャージは現金でもクレジットカードでも可能です。

〈キャッシュレス決済〉

「paypay」「LINE pay」「メルペイ」の他、カード払いに対応しています。

●各詳細は080(6025)0990にお電話でご確認ください

〈Free Column〉

劇場の片隅から

文/安達良春

夏に久しぶりに友人と会う機会があり、呑みながら取り留めのない話をしていた時の事。小学生からの長い付き合いでもあり、思い出話ながら「新しい本読んでる? 最近新しい本を読まなくなって昔読んだ本をまた読み返してるんだよ。星新一、畑正憲、新井素子、鴨川つばめ、江口ひさし、手塚治虫とか、まだ家にあるんだよな」と振ってみた。最初は笑いながら乗ってきた友人だったが、途中で真顔になり「俺も新しい本を読むのがしんどくなってきたけど、頑張ってるよ。新しいものもない」とぼつり。「昔読んだ本を読み返すのも面白いじゃないか」と思いつつ、図書館に通い始めた事は友人に内緒にしている。

特別寄稿

きむらとしろうじんじん八戸野点

文/篠原 英里 (八戸市美術館 学芸員)



きむらとしろうじんじん八戸野点2023 撮影:神智



10月1日・7日に、「きむらとしろうじんじん八戸野点2023」が開かれた。八戸市では昨年に続いて2回目の開催である。

京都在住の美術家・陶芸家のきむらとしろうじんじんは、全国で野点を開いている。野点は、路肩や公園などの屋外に、お茶道具一式を積んだりヤカーを置いて行われる。そこでじんじんは、派手なドレス姿でお客さんをもてなす。特徴的なのが、お茶碗を焼く陶芸用窯を置くことだ。お客さんが絵付けしたお茶碗を、じんじんがこの窯で焼き上げていく。したがって、その場で焼きたてのマイお茶碗でお茶を楽しめる、という寸法だ。

野点は、八戸市美術館の企画「美しいHUG!」のプロジェクトとして開催した。「美しいHUG!」では、6人のアーティストが参加。その内の1人がじんじんだった。筆者はそのじんじんの展示を担当し、八戸での野点運営にも携わった。

野点の本番は各回1日で終わるが、公募で集まったプロジェクトスタッフとの準備期間が、本番のよい場・よい時間を生み出している。今年は、1日目は旧三春屋前、2日目は八戸市美術館広場が会場になったが、この会場は、公募スタッフと共に、5~7月の野点説明会・おさんぽ会を経て決めた。おさんぽ会では、じんじんと公募スタッフが野点によさそうな場所を探して散歩する。ビルの屋上や公園などを見て、どこを会場にするか話し合った。各々が抱いていた旧三春屋への思いを聞き、自然と会場は決まった。また、絵付けを案内したり、お茶碗を磨いたりといった運営も、公募スタッフが行う。この時、大切なのが、スタッフも野点の場を楽しみながらゆっくりと運営すること。つまり、効率的に場を回そうとしないこと。じんじんは、野点は陶芸ワークショップではないと強調していた。その時その場の風景や出来事を楽しんでもらうことが、重要なのだ。

10月1日、旧三春屋前の野点では、雨が少し降ったものの、三春屋に思い入れのある人が訪れた。また、昨年野点に参加した人、参加しなかったが

来なかった人も来場し、プロジェクト2年目の意義を感じた。ここは大通りに面したバス停前で、ホテルが近いという場所柄、通りかかった高校生やバスの乗客、観光客らが野点を偶然目撃して、交流が生まれていた。路上の醍醐味を感じられる現場となった。

10月7日は、晴天に恵まれた。この日は、美術館広場で、野点と共に「妄想屋台」も開催。10組の屋台出店者が、じんじんと同様に自身の「魅力の予感」を広場に持ち出した。自分の絵画作品を展示する屋台や、お客さんが写真からストーリーを考える屋台、背徳感を味わいながら麻雀をする屋台など、ユニークな屋台が並んだ。5月からアイデアをあたため、準備してきた妄想が実際に形になった喜びが溢れていた。妄想屋台は、自分の妄想を形にしてみてもいいのだ、と背中を押す企画だった。このように、アートを通して選択肢や視野を広げるような企画を続けていきたいと思う。野点も盛況で、お客さんは、絵付けやお茶の順番待ち中に妄想屋台をめぐるしていた。

この日は広場全体がなんとも言えない空気感に包まれた。熱に浮かされたような、でも少しすっとぼけたような雰囲気、アートプロジェクトだからこそ生まれた場であったように思う。



「きむらとしろうじんじん八戸野点」

●野点
2023.10.1(日) 旧三春屋前
●野点+妄想屋台
2023.10.7(土) 八戸市美術館広場 マエニワ・オクニワ

●筆者近況

野点が終わるとすぐに、来年の展覧会準備を本格始動。来年4月20日から、八戸市美術館収蔵作品を展示する企画展を開催予定です。冒険するようにワクワクしながら、美術作品の楽しみ方を知ってもらいたいと企画しました。お楽しみに!

FANSで上演・LIVEをやってみませんか?

ジャンルは問いませんので、まずはお気軽にご相談ください

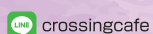
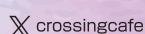
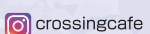


Director

田中 勉

〒031-0081 八戸市柏崎1-11-8
mobile 080(6025)0990 Fax.050(3588)8350
e-mail owner@spaceben.com

<https://spaceben.com/>



FANSってなんだ!?

小劇場「スペースベン」にて、毎週金曜日の夜7時30分から、約30分の芝居を楽しんでいただく企画です。芝居に限らずライブ・ダンス等、ジャンルの枠にとらわれず、金曜日の夜には“ここで何かおもしろい事をやっている”という場になればと思います。なお、料金は特別番組以外全て前売り500円、学生は200円です(当日100円増し)。上演の場を求めている方、刺激を求めているあなた、ご連絡お待ちしております。